

第2回 朝倉駅周辺整備計画調査検討会議 議事要旨

日 時：平成29年2月7日（火） 15：30～17：00

場 所：知多市役所3階 協議会室

出席者：座長 名城大学都市情報学部教授 大野 栄治、
副座長 八幡コミュニティ会長 寺島 康夫
つつじが丘コミュニティ会長 丹羽 鷹平、新知コミュニティ会長 近藤 広志、
名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部土木部建設課長 山縣 正明、
愛知県タクシー協会知多支部長 藤田 重記、
知多乗合株式会社取締役バス営業本部長 坂本 直也、
知多女性たちの会 位田 美砂、
特定非営利活動法人起業支援ネット代表理事 久野 美奈子、
知多市商工会副会長 竹内 栄道、知多三四会会長 長岡 俊英、
愛知県知多建設事務所道路整備課長 杉本 孝博、
愛知県知多警察署交通課長 藤谷 和憲

事務局：参与 長谷川 勝春、都市整備部長 立川 泰造、都市計画課長 安永 明久
都市計画課 市川 隆人

1 あいさつ(大野座長)

第1回会議では、たたき台をもとに計画対象地区のゾーニングと各ゾーンに導入する施設について議論を行なった。本日は、第1回会議で出された課題について、事務局で調査結果がまとめられたため、その内容について意見を交換し、ゾーニング等の方向性を決めた上で、次の段階の議論へ進みたい。

2 議題

(1)会議資料について

事務局から、資料について説明

(2)意見交換

①第1回会議の課題整理について

○計画対象地区に導入する機能(ゾーニング)について

【行政機関】

- ・ 駅正面ににぎわいがあり、活気が感じられるため、B案を提案したが、商業事業者の声は聞いているのか。

⇒B案について、商業事業者にヒアリングを実施した結果、商業・交流にぎわいゾーンが幹線道路で分断され一体的な利用が困難であることから、進出意欲が低くなる回答を得た。（事務局）

- ・ 商業・交流にぎわいゾーンが道路で分断されている等の事情により、商業事業者の進出意欲が低いということならば、A案でよい。

【コミュニティ】

- ・ 商業施設が幹線道路の両側に配置されることで、道路が渋滞することと、商業・交流にぎわいゾーンが分断され、にぎわいが小さくなることを懸念するためA案がよいと考える。

【交通事業者】

- ・ 実現性のあるA案で良いと考える。駅前に商業施設の出店が困難ならば、老朽化した市役所の建替え先とし、そこで働く職員や利用者が、客となって駅前のにぎわいに寄与することができる。その代わりに、今の市役所の場所を商業・交流にぎわいゾーンにすれば、にぎわいの創出を図る他、事業者からの土地代や建物の固定資産税も入ることになる。
- ・ 老朽化に伴う市役所の移転であるため、事業効率がよいと思う。移転先は、多くの市民が利用する場所であるため、駅前がよいと考える。一方、現在の市役所の跡地は、街区の中で最も面積が広いので、スーパーマーケットなど色々な商業施設を集めやすくなり、事業性が高まると考えるので、A案を支持する。

【学識経験者】

- ・ 商業機能の一体性の確保や商業施設誘致の実現性及び新庁舎の建て替え時のメリット等を総合的に勘案し、ゾーニングはA案が好ましい。
- ・ 今後の計画はA案を前提に検討を進める。
⇒全員了承

○計画対象地区に追加する施設(子育て支援施設、アミューズメント施設、図書館)について

【各種団体】

- ・ 子育て支援施設は、シビックコアゾーンに配置することが望ましいと考える。子育て支援施設の内容は、駅前に保育園そのものを作るのではなく、送迎ステーションを作って、そこで朝、子供を預かり、そこから保育園へ送って行く。通常保育が終わったら再び駅の送迎ステーションへ連れていき、親が迎えに来るシステムを導入すればよい。（愛知県内では岩倉市で導入されている）
- ・ 企業団体としても、子育て支援施設や図書館を配置することに賛成である。働くお母さんを支援することは、社会にとって当然のことであり、子育て支援施設は、駅に近いシビックコアゾーンに、図書館は、幅広い世代の人々を集める力があるため、商業・交流にぎわいゾーンへの配置がよいと考える。
- ・ 事業者へのヒアリング結果や周辺市町での立地動向を踏まえると映画館等のアミューズメント施設の導入は難しそうであるが、アミューズメント機能も多様化してお

り、もっとアミューズメントを広義にとらえてはどうか。

- ・ 図書館を商業・交流にぎわいゾーンに配置することに賛成である。図書館は、時代とともにあり方が変わってきており、現在の中央図書館は旧タイプであると思う。これからの図書館として、例えば、コーヒーを飲んだり、飲食したりできる機能など図書館を一つのアミューズメント施設としてとらえ、あり方を考えていくことが必要である。新しい考えの図書館が、にぎわいを作ると言っても過言ではない。
- ・ 市役所の建替えは、シビックコアゾーンへの移転でよいと考える。高浜市などでは、民間の建てたビルにリース契約で入居する方法がとられている。完成時に多額の資金を用意するのではなく、家賃として支払うことも一案と考える。また、財政面のメリットもあるのではないかと考える。
- ・ 図書館の商業・交流にぎわいゾーンへの配置は、今の中央図書館がバスや自動車でなければいけないところにあるので、とても便利であると思う。
- ・ 試験期間中などは、図書館の自習スペースが足りないため、スペースを充足させる検討もお願いしたい。学生等の若年層の集客が、駅前のにぎわいにつながっていくと考える。
- ・ 図書館は、駅前の利便性を重視して、シビックコアゾーンに配置した方がよいと考える。一宮市で勤務していた頃は、駅前の図書館を何度か利用した経験があるが、知多市に転勤してからは、一度も利用したことがない。やはり利便性が大切と考える。

【コミュニティ】

- ・ 図書館を商業・交流にぎわいゾーンに配置することに賛成である。図書館は、休日の利用者が非常に多いため、シビックコアゾーンの市役所とは営業形態がまったく異なるので、休日に集客が多い施設と一緒にの方が望ましいと考えている。

【学識経験者】

- ・ 子育て支援施設はシビックコアゾーン、図書館は商業・交流にぎわいゾーンに導入する。また、映画館等のアミューズメント施設の導入は難しいが、計画の熟度を深めていく中で、別の形のアミューズメント施設の導入が可能となったとき（委員からの提案等があった際など）はそれを検討する。
⇒全員了承

②中街区の整備の方向について

○バース数について

【交通事業者】

- ・ バスの利用は減少しているが、コミュニティバスなどの運行を含め、減少傾向は底を打ったと理解している。新たな駅前広場のバスバースの数量については、現況より減少しているので事務局と協議していきたい。

【行政機関】

- ・ 一般車のバース数について、今後、交通量調査などを行って必要なバース数を見積もっていくことが大切であると思う。

○駅前広場の配置について

【交通事業者】

- ・ 交通事業者から見れば、駅前広場が駅舎の前に直結しており、車椅子、高齢者などの移動が安全で円滑なBの②案が望ましいと考えている。
- ・ 駅前広場の内容を分離にするか一体にするかについては、本来は、一体型が利用しやすいと考えるが、現在の駅前広場の利用状況を改善するため、分離案が望ましい。
- ・ 駅前広場の配置は、B案でよいと思う。A案は、駅舎と導入施設が近接しているのはよいが、深夜になると導入施設の照明が消えるため、管理、防犯面に問題が生じやすい。また、現在の朝倉駅のように駅前広場内の通過交通を認める設計は、他の駅前広場の例であまり見たことがない。
- ・ 歩行者動線を横断歩道だけとするのではなく、歩道橋の設置など、安全面の工夫が必要と考える。
- ・ 中街区の計画案（資料2の14、15ページ）の導入施設と規模設定で駐輪場について触れていないが、現況のままということで記載がないのか。

⇒駐輪場に関しても考え方等について、今後示していく。（事務局）

【各種団体】

- ・ バスと一般車は分離していた方が安全であるし、駅を利用する一市民の立場からも使いやすくと考える。
- ・ Bの②案でよいと思う。事業費は高くなるが、駅前広場を2階建てにし、2階を一般車、1階をバス・タクシーとして、2階から電車のホームに直結できるようにすることがよいと思う。

【行政機関】

- ・ 一般車の乗降バース数について、駅前広場面積の検討（資料2の15ページ）では3バースとなっているが、駅前広場計画案（資料2の18、19ページ）では9バースとなっている。一般車乗降バース数は確定していないのか。

⇒パーソントリップ調査のデータ等から試算した結果、3バースと算定されたが、配置計画案の検討段階で、乗降バースを更に設置できることを示すために、9バースで表記している。交通量調査を実施し、分析結果を踏まえバース数を確定したい。（事務局）

【学識経験者】

- ・ 中街区の整備方針として、朝倉駅周辺の中でも特に“中核的役割を担う街区”として、玄関口にふさわしいにぎわいを形成するとされているが（資料2の13ページ）、この方針で計画づくりを進めてよいか。
⇒全員了承
- ・ 中街区の計画案としてBの②案、駅前広場計画案は一般車とバス・タクシーを分離する案をベースに検討を進めてよいか。
⇒全員了承

○その他意見

【各種団体】

- ・ 朝倉駅の東側にロータリーを作って、一般車の乗降を行うようにすれば、朝倉の交差点の負荷が低下するのではないか。

【コミュニティ】

- ・ 駅の東側にロータリーを作って、一般車の乗降を行うことを、この朝倉の計画とは別の事業で考えていただけないか。切実に思っている。
- ⇒本会議では駅周辺のにぎわい創出を早期に実現するため、駅西側の市有地を対象に検討を進めている。都市拠点の機能集積を駅の西側から先導することで、市の玄関口にふさわしいにぎわいを形成し、駅西側の熟成に応じ、駅東側の再開発の合意形成が徐々に展開されていくと考えている。（事務局）

【学識経験者】

本日の意見交換を総括すると、以下のとおりと考える。

- ・ 計画対象地区のゾーニングは、A案とする。それぞれのゾーンに新たに配置する施設として、子育て支援施設をシビックコアゾーンに、図書館を商業・交流にぎわいゾーンに配置する。
- ・ 映画館などの今考えられるアミューズメントは、配置が困難なため、配置を見送ることとし、今後、新たな施設が候補になったときに検討することとする。
- ・ 市役所の建替えは、まず、新しい市役所を建ててから、古い市役所を解体する手順になるので、相当な時間を要することになる。このことを踏まえ、市は、早急に新市役所についての話を進めることがとても大切なことである。このプロジェクトをいかに早く進めるかに係ってくるのでよろしくお願ひしたい。
- ・ 駅前広場の配置は、B案の②が最も望ましい。A案は、駅舎の目の前に建物があってよいが、閉店後など治安上の問題がある。C案は、駅舎の正面に横断歩道が配置される可能性が高いので、安全上の問題がある。
- ・ 駅前広場内の公共交通と一般車の配置については、分離案とする。交通事業者、一般利用者の双方が安全で安心できるためである。また、誰もが使いやすい乗降スペースを確保する上でも、分離案の方が確保しやすいと考える。

⇒全員了承